



主な取り組み

〈新設〉

不妊治療費助成の実施

不妊治療については、令和4年度から医療保険が適用されていますが、妊娠までに複数回の治療を受ける事例も多く、経済的負担が大きいことが課題となっています。

市では、不妊治療を受ける人が経済的理由により治療を断念することのないよう、今年度から治療費の一部を助成します。助成額は、保険が適用される治療の自己負担額に対し、上限を10万円とします。

韓国密陽市と姉妹都市協定

江戸時代に朝鮮王朝から日本に派遣された使節団「朝鮮通信使」の復元船が、5月17

南海トラフ地震への備え

南海トラフ地震の発生確率は今後30年以内に80％程度とされており、切迫した状況にあります。また、当市は「南海トラフ地震防災対策推進地域」に指定されており、特に沿岸部では津波による被害が懸念されています。

こうした状況を踏まえ、市では南海トラフ地震への備えを進めており、6月14日には牛窓町公民館で「せとうち防災リーダー養成講座」を開催し、南海トラフ地震を想定した防災まち歩きおよび防災マップづくりを行いました。

また、11月8日に牛窓小学校で予定している「総合防災訓練」では、地震の揺れや津波を想定した訓練を実施し、沿岸部での防災対策を強化します。

今年度も自主防災組織の活



密陽市との姉妹都市協定書

今年度中に方向性を定めます。

市営火葬場の利用状況

岡山市との連携により整備した新火葬場については、令和7年4月から供用を開始しています。利用状況は、5月

末時点で瀬戸内市民が95件、岡山市民が41件、その他が7件であり、合計143件の利用がありました。

今後増加の傾向にある火葬需要に適切に対応するため、引き続き、指定管理者と連携を取りながら円滑な運営を行います。

岡山大学との医療連携

瀬戸内市民病院では、岡山大学と連携し、4月から「日曜小児科外来」と「難聴外来」を開始しています。

「日曜小児科外来」は、岡山大学の教育研究活動として小児科寄付講座を開設し、大学病院から市民病院へ医師の

国宝「太刀無銘一文字（山鳥毛）」の貸し出し

市が購入した国宝「山鳥毛」を初めて県外に貸し出します。貸し出し先は、上杉謙信の居城がある春日山城を有する新潟県上越市です。

上越市では、上杉謙信を顕彰する「謙信公祭」が100回目を迎えることを記念し、上越市立歴史博物館で8月13日から24日までの12日間展示されます。

なお、本市での「山鳥毛」の展示は、来年3月を予定しています。

食物アレルギーに対応した給食の実施

学校給食調理場では、令和7年4月から食物アレルギー対応として、除去食の提供を実施しています。除去の対象となる品目は卵と乳の2品目です。今後も保護者・学校・調理場が連携し、情報を共有しながら、適切な食物アレルギー対応を実施します。

性化や「せとうち防災リーダー」のスキルアップを図ることで、家庭や地域における「自助」「共助」を促進し、市全体の防災力向上を目指します。



令和6年度総合防災訓練の様子

ゼロカーボン社会の実現に向けて

一般家庭と事業者を対象とした太陽光発電設備や蓄電池の設置、電気自動車の購入、高効率エアコンや高効率給湯機器への買替えなどに対する脱炭素推進設備導入補助金の交付申請を、今年度も6月2日から受け付けています。

また、市の公共施設へのLED照明や高効率エアコンの

こどもパーク整備の進捗状況

こどもパークの整備計画は、事業費の財源として見込んでいた国の交付金制度の採択要件が変更されたことに伴い、計画の見直しが必要となりました。

今年度、新たな採択要件に合わせた事業計画の変更を検討した結果、地域の産業界や教育機関などと連携することが求められ、事業主体の変更を含め、これまでの計画を抜本的に見直さなければ、事業を進めることができないとの判断に至りました。

今後については、これまでの計画をもう一度精査し、財源の確保策を検討した上で、